

各 位

上場会社名	藤井産業
代表者	代表取締役社長 藤井 昌一
(コード番号)	9906)
問合せ先責任者	常務取締役社長室長 秋本 榮一
(TEL	028-662-6018)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,400	△70	100	30	3.10
今回発表予想(B)	21,700	△245	△85	△80	△8.27
増減額(B-A)	△1,700	△175	△185	△110	
増減率(%)	△7.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	26,228	338	524	254	25.84

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	51,000	290	650	310	32.06
今回発表予想(B)	47,400	△150	175	50	5.17
増減額(B-A)	△3,600	△440	△475	△260	
増減率(%)	△7.1	—	△73.1	△83.9	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	52,712	499	830	420	42.88

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,500	△80	80	40	4.14
今回発表予想(B)	17,600	△135	20	25	2.59
増減額(B-A)	△900	△55	△60	△15	
増減率(%)	△4.9	—	△75.0	△37.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	20,940	288	477	257	26.08

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	40,600	240	550	275	28.44
今回発表予想(B)	38,000	△90	200	100	10.34
増減額(B-A)	△2,600	△330	△350	△175	
増減率(%)	△6.4	—	△63.6	△63.6	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	42,538	431	734	388	39.64

修正の理由

(1) 第2四半期累計期間におきましては、昨年来の急激な景気悪化、予想以上の設備投資の抑制や建設投資の冷え込みにより、産業システム事業の機器制御及び電設資材事業を中心に減収の影響が大きく、全グループを挙げてのコストダウンを図りましたが、連結・個別共に売上高・利益は前回公表した予想数値を下回る見込みであります。

事業の内訳としましては、主力の電設資材事業が建設投資全般の冷え込みから予算比13%減(前期比19%減)となる見込みであります。産業システム事業は、生産工場の稼働率低下や設備投資の抑制の影響を大きく受けたことや、土木建設機械販売の子会社コマツ栃木株式会社の売上高も低調に推移し、予算比10%減(前期比26%減)となる見込みであります。施工事業に関しましては、工事進行基準の売上計上もあって予算をオーバー(前期比横ばい)する見込みであります。

(2)通期業績予想に関しましては、下期の景気回復を織り込んでおりましたが、依然として設備投資の抑制傾向が続いており、設備投資の回復には今暫く時間を要する状況であり、住宅着工の低迷も続くものと見込み、下期予想を再点検の結果、連結・個別とも上記のとおり修正いたします。

(注)業績修正につきましては、現段階の入手可能な情報に基づいて判断しておりますが、実際の業績は、様々な要因の変化により、上記の予想数値と異なる可能性があります。

以 上